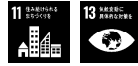


充実

災害対策設備整備事業



市民生活部 防災危機管理課

1 予算額 2,859千円

2 目的及び効果 地震被害想定(内陸直下型地震)に基づき、災害時用の飲料水、食糧、生活必需品等の備蓄品の購入を進めます。また、すぐメール架電・ファックスシステムを運用することにより災害対応力の強化を図ります。

3 事業概要

(1)大規模震災時に、避難者・帰宅困難者の方に3日間程度提供できる数量の食糧等の災害対策備蓄品を、災害対策備蓄品整備計画に基づき計画的に整備します。今年度は主に次の品目について、購入等を行います。

災害対策設備整備事業 2,100千円

…敷きマット、避難所備蓄倉庫医薬品、
医療救護所備蓄医薬品、手指消毒液



(2) **充実** すぐメール架電・ファックスシステム運用事業 759千円

市民への災害情報伝達手段である防災情報メール配信サービスについて、新たにSNS連携を加え、災害対応における情報発信を一元化します。

また、メール以外の手段として、登録した世帯へ自動で電話及びファックスを送信するシステムを引き続き運用します。



新規

自転車乗車用ヘルメット



購入費補助事業

市民生活部 市民安全課

1 事業年度 令和3年度～5年度

2 予算額 2,400千円

3 目的及び効果

自転車乗車中の交通事故死者の多くは頭部の損傷が原因で亡くなっており、ヘルメットを正しく着用することによりおよそ1/4に低減するといわれています。

現在愛知県では、ヘルメットの着用を努力義務とする「(仮称)自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の制定を検討しており、ヘルメットの義務化とともに購入費を補助することで、自転車乗車時のヘルメット着用を促進し、交通事故による人的被害の重大化の防止に努めます。

4 事業概要

市民が安全性の認証を受けた自転車乗車用ヘルメットを購入する場合に、費用の一部を補助します。

【補助対象者】小牧市に住所を有する市民

(18歳以下の者が申請する場合は、その保護者)

【補助額】対象経費の1/2(上限額2,000円)

【補助対象物品】一般財団法人製品安全協会等の安全認証を受けたヘルメット

新エネルギー導入助成事業



市民生活部 環境対策課

1 予算額 21,340千円

2 目的及び効果 省エネルギー型機器・再生可能エネルギーを導入する市民に対し設置費用の一部を補助することで、家庭の効率的なエネルギー利用を促進し、地球温暖化防止及び低炭素社会の形成と市民意識の高揚を図ります。

3 事業概要

○家庭用燃料電池システム補助金

【補助額】1件あたり10万円

ガスから水素を取り出し、空気中の酸素と反応させ発電します。
また、発電時の排熱も利用します。

○家庭用エネルギー管理システム(HEMS)補助金

【補助額】1件あたり1万円

電力使用量を実測し、エネルギーを「見える化」します。

○定置用リチウムイオン蓄電システム(蓄電池)補助金

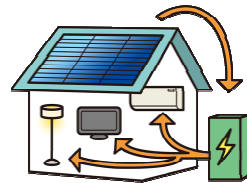
【補助額】1件あたり10万円

電力を繰り返し蓄え、必要に応じて使用できます。

○一体的導入補助金

【補助額】1件あたり上限23万円

一体的導入とは、HEMS、蓄電池、住宅用太陽光発電システムを一体的に導入するものです。



ごみ分別簡素化・資源化促進事業



市民生活部 ごみ政策課

1 予算額 109,857千円

2 目的及び効果

市民の利便性を高めながら、ごみの減量化・資源化を促進することにより、資源循環型社会の構築を目指します。

3 事業概要

① 剪定枝類の資源化

資源回収ステーション及び地域のごみ集積場に排出された剪定枝類について、チップ化・堆肥化して資源化します。

② 雑がみの資源化

燃やすごみとして排出されることが多い雑がみについて、金属やビニールがついたものや、カーボン紙や感熱紙等も雑がみとして回収し、ごみの減量化・資源化を図ります。

③ ごみ集積場に排出された古紙・古布類の集団回収の実施

区のごみ集積場に排出された古紙(新聞・雑誌・段ボール・飲料用紙パック)・古布類を集団回収方式で収集・資源化します。

④ 危険ごみの適正処理

スプレー缶類は穴開け不要とするなど、排出時や処理時の事故防止を図り、適正に処理した上で資源化します。

